

府 科 事 1 3 4 8

令和 6 年 12 月 10 日

文部科学省

研究振興局 基礎・基盤研究課長

中澤 恵太 殿

内閣府 総合科学技術・イノベーション推進事務局

参事官（研究環境担当、大学改革・ファンド担当）

白井 俊

理化学研究所における次期中長期目標の策定にあたっての指摘事項について

標記の件につきまして、令和6年度末に中長期目標期間が終了する特定国立研究開発法人の当該期間終了時に見込まれる中長期目標期間における業務の実績に関する評価並びに業務及び組織の全般にわたる検討結果並びに講ずる措置の内容に関しまして、総合科学技術・イノベーション会議評価専門調査会（令和6年7月19日、9月18日及び10月22日開催）において検討しましたところ、下記のとおり指摘事項がございましたので、お知らせいたします。

記

理化学研究所の次期中長期目標策定にあたっての指摘事項

以 上

理化学研究所の次期中長期目標策定にあたっての指摘事項

総合科学技術・イノベーション会議

評価専門調査会

理化学研究所には、特定国立研究開発法人として、総合的な研究機関の強みを活かした新たな取組を推進し、他の国立研究開発法人、大学、企業等との連携を強化しつつ、他の研究機関の模範となる先駆的な研究システムを構築することが求められる。その際、柔軟な人事・給与の仕組みによる多様な人材の確保、国立研究開発法人との連携・協力による研究推進支援人材等の育成、研究成果の知的財産の適切な管理、及び健全な研究推進の前提となる研究セキュリティ・インテグリティ等の取組を先導していただきたい。

また、科学技術・イノベーション基本計画等の実現に向け、世界最高水準の研究成果を生み出し、イノベーションを持続的に創出する自然科学の総合的な研究機関として、最先端の研究を推進する上で、海外に対する競合優位性を確保するための方策を明確化しつつ、社会実装に向けてスタートアップの振興に貢献していただきたい。

また、理事長のリーダーシップの下、目指すべき理化学研究所の姿を示すとともに、経営資源の配分戦略を明確化し、効果的なマネジメント（法人の統治のみならず組織化された研究マネジメントを含む）及び体制面の整備に取り組んでいただきたい。

このような取組が円滑かつ速やかに推進されるよう、文部科学大臣は、理化学研究所に対して、適時適切に支援、助言及び進捗把握を行い、他の国立研究開発法人を牽引する研究機関となるよう努めていただきたい。

以 上